

働くことの楽しさ・喜びとは
—— 一生勉強、一生青春 ——



2021年2月4日(木)

13:35～14:35

開倫塾

塾長 林 明夫

(栃木県経済同友会、会員)

*お読みになりやすいように、QandA の形で資料を作りました。授業後もお活用ください。

Q：働くとは、仕事をするとは、どういうことですか。

A：(1)すべての仕事には、「お客様」がいます。



(2)①仕事とは、「お客様の問題を解決」し、「お客様のお役に立つこと」です。

②世の中(社会)には、同じような問題を抱えるお客様がいます。

③仕事とは、「世の中(社会)にいる同じような問題を抱えるお客様のお役に立つこと」、つまり、「世の中(社会)のお役に立つこと」です。

(3)①まとめていうと、「仕事とは、お客様のお役に立つこと、世の中(社会)のお役に立つこと」。

②ですから、「仕事の喜び」とは、「お客様のお役に立つこと、世の中(社会)のお役に立つこと」。

③この仕事の「お客様」はだれか、何を提供してどのようにお役に立っているのかを考えてみましょう。



Q：なぜ、人は働くのですか、仕事をするのですか。

A：(1)「生活できるだけの収入を得る」ため。

(2)「お客様や、世の中(社会)のお役に立つ」ため。

(3)「仕事をすることで、自己実現をする」ため。



Q：働くこと、仕事の厳しさとは、何ですか。

A：(1)世の中が急激に変化し続けるので、お客様が必要とするものがどんどん変化し続けることです。変化に合わせて、仕事の仕方や、提供するものを変化させ続けることです。



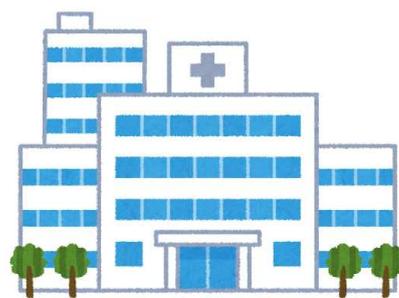
(2)特に、昨年の2月からの新型コロナウイルス感染拡大は、仕事の仕方や、提供するものに大きな変化をもたらしています。

(3)競争相手が、日本国内だけではなく、世界中から現れ、厳しい競争に勝ち抜かなければならないことです。



Q：仕事をするうえで、目標を持つことは大切なのですか。

A：(1)①仕事をする場所が、個人でも、企業でも、国や自治体(都道府県や市町村)でも、病院や介護施設などの非営利法人でも、何のためにその仕事をするのかという「社会的使命(ミッション)」があります。仕事をするうえでの目標は、「社会的使命(ミッション)」を実現することですので、とても大切です。



②「目標」がなければ、何をすればよいかかわからなくなるからです。

③「目的地」を決めないで舟を出すのと同じで、難破してしまいます。



(2)①企業や組織、チーム全体として「目標」を持つことが大切なと同じように、メンバーの一人一人が個人的な「目標」を持つことも、もちろん必要です。

②よくできないことがあれば、具体的な「目標」を立て、よく勉強したり練習したりして、できるようにする。

③「練習は不可能を可能にする」という教えがあります。仕事にも当てはまります。



(3)①このように、仕事をするうえでの「目標」には、チームとしての目標と、メンバーとしての目標があります。

②これをどのように達成するか、みんなで考えていくことが大切です。

③何だか、部活動・クラブ活動と似ていると思いませんか。



Q：チャレンジすることの素晴らしさをお話ください。

A：(1)①仕事の大半は、今まで行ってきたことを、確実にやり続けることで成り立ちます。

②もし、今まで行ってきたことがよくできていなければ、「目標」を立て、少しずつでも、「きちんとした仕事」ができるように勉強し、「練習」をし続ける。

③これも素晴らしい「チャレンジ」です。どんどんスキルアップをし、完全な仕事ができるように「チャレンジ」し続けましょう。



(2)①仕事のうえでの「チャレンジ」には、もう一つあります。

②それは、「様々なものを組み合わせて」、今までになかったような「仕事の仕方を考え、実行し、世の中に広めること」です。

③今までになかったような「製品やサービスを考え、お客様に提供すること」です。これを、「イノベーション」といいます。



(3)①皆さんが大好きな「スマホ」や「タブレット」は、いつごろ作られたのでしょうか。

②アップル社のスマホ、iPhoneは2007年に、タブレットのiPadは2010年にできました。

③皆さんがスマホを持つようになったのは2015年ごろからです。今では、だれでも持っています。



＜ちょっと一休み＞

(1)アップル社の創業者、スティーブ・ジョブズさんの伝記を読むと、「チャレンジ」「イノベーション」とは何かがよくわかります。

(2)このように、10年前まではなかったものが、今ではだれでもごく普通に使うようになることを「イノベーション」といいます。世の中は、挑戦、「チャレンジ」、「イノベーション」で劇的に変化します。

(3)世界中の製薬会社が行っている、多くの人々の健康を願っての新型コロナウイルス感染対策用の「ワクチン製造」も「チャレンジ」です。

*皆さんは、どのような「チャレンジ」をしてみたいですか。



Q：これからの社会で求められる人材とは何ですか。

A：(1)①明るく、楽しく、元気な人。前向きな人。困難な問題に、積極果敢に挑戦する人。

②自分以外の他人のよさを素直な心で認め、評価し、励まし合うことのできる人。

(2)読解力を身に着けた人。

①辞書(よくわからない言葉があったら「気持ちが悪い」と思い、辞書で調べましょう)

②新聞(中学生は、新聞を毎日読みましょう)

③読書(各教科の教科書で紹介されている本を、どんどん読みましょう。本は最後まで読みましょう。本は何回も読みましょう)

*学校図書館、公共図書館、大学図書館を使いこなせる人。



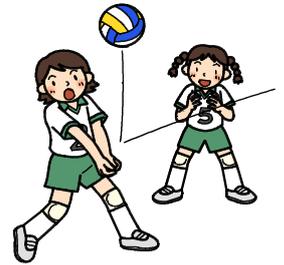
(3) 「5 S(ゴエス)」を身に着けている人。

- ①「整理」(seiri) 不要なものは処分する
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除する
- ③「整頓」(seiton) ものと同じところに置く
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する
- ⑤「躰」(shituke) 自分から進んで行く



「<もう一つの「躰(しつけ)」も大切>

- (1)美しい立ち居振舞い(たちいふるまい)
- (2)美しい言葉遣い(ことばづかい)
- (3)元気なあいさつ(あいさつは、こちらからする)



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)慶應義塾大学の学長を務めた小泉信三先生の「スポーツの3つの宝」という教えです。

- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレイ」
- ③「よき友」



(2)学校の勉強や活動は全部役に立ちます。

①学校の勉強は役に立ちます。高校でも、大学でも、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役に立ちます。就職試験や公務員の採用試験にも役に立ちます。充実した人生を送るために一生役に立ちます。



②ですから、学校の教科書や辞書、地図帳などは絶対に処分しないこと。折に触れ、学校の教科書や辞書、地図帳を取り出して学び続けましょう。

*地名が出たら、地図帳で確かめることをお奨めします。

③「学び方を学ぶ」(勉強の仕方を工夫しよう)

*仕事はメモで身に着ける。ノートの取り方、整理の仕方を身に着けよう。



(3)「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

ご清聴を感謝いたします。ありがとうございました。

ご質問・ご意見があればご自由にご発言ください。よろしく願いいたします。